



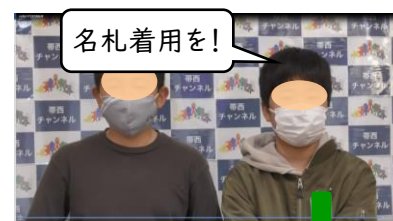
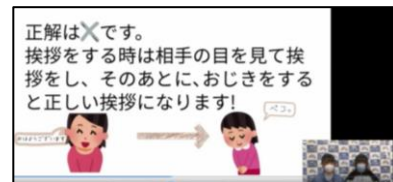
いきいき集会 ～生活委員会～

今日9日(木)のいきいき集会は生活委員が発表しました。初めに生活委員の仕事について紹介がありました。生活委員の仕事は、大きく2つあるそうです。一つ目が、「あいさつ運動」です。あいさつ運動は、月・水・金曜日の朝、7時45分～7時55分の間に行っています。二つ目が、「スッキリ活動」です。スッキリ活動は、水曜日の朝、7時45分～7時55分の間に行っています。この活動のおかげで、進んで学校をきれいにする子供たちが増えてきました。

今回は、名札についても話をしてくれました。まず、名札をつけるタイミングですが、「学校に来てすぐつける」とこと「家に帰るときに外す」ことを教えてくれました。また、名札の意義ですが、「名刺と同じで、自分を紹介するためにつける」とこと「廊下ですれ違ったときやたてわり班活動などで学級・名前がわかる」と教えてくれました。

そして、あいさつ〇×クイズでは、「あいさつするときのお辞儀のタイミング」という難問も出され、解答(右上)が出されると、子供たちから歓声が上がっていました。

感想交流では、2年生の子供が「帯西イエローの心を感じました。わけは、今よりもっとスッキリ活動をがんばりたいと思ったからです。」と感想を述べると、生活委員長が「素敵な感想をありがとうございました。全校の皆さんは、校内では名札を付けるよう、お願いします。」と述べていました。生活委員の皆さんの願いである、**名札をもっと一度おうちでも確認していただき、心も身だしなみもスッキリしましょう!**



甘くない「チョコ」の世界

バレンタインデーが近付き、店頭や広告、メディアでも雰囲気醸成されています。ところで、チョコの原料になるカカオ豆の生産地の一つである西アフリカでは、栽培のために貴重な森林が伐採され、生産現場では、学校にいけない多くの子供たちが働かされているそうです。

世界で最もカカオ豆の生産量が多いコートジボワールでは、カカオ農場をつくるために、20年間で東京都の面積の10倍以上にあたる240万haの森林が失われたそうです。この流れを断ち切るため、EUでは、カカオを輸入する会社は「生産地の農園が2020年より後に森林を破壊して作られたものではないか」「児童労働が行われていないか」の証明が求められるそうです。これまで、EUで定められた環境問題を巡るルールは、時間をかけて世界の標準になってきました。やがて日本でもこのようなルールができるかもしれません。チョコの向こう側にある世界の現実は、そう甘くはないようです。

